

その製品の価値、 伝わっていますか？

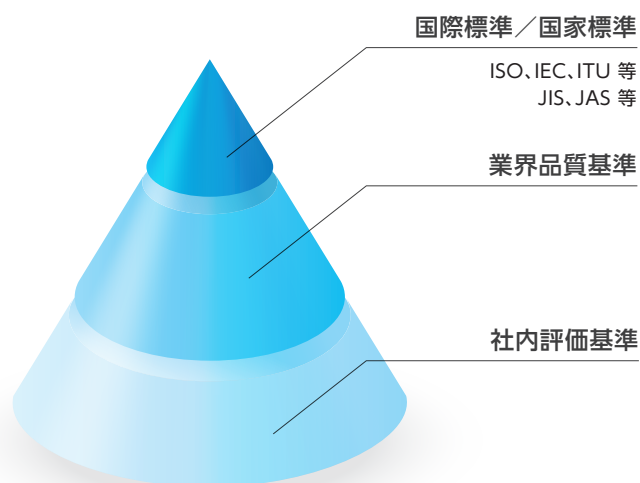
NITEは、製品・技術の
「評価制度」の構築を支援します



「評価制度」は、製品の価値を伝えます

自社の製品を市場に出した時に、「売りの性能がぱっと伝わっていない」とか、「模倣品が販売されてしまった」といったお悩みはなかったでしょうか。そのような時に「評価制度」が役立ちます。「評価制度」は、そもそも製品の安全や安心を担保することに広く役立ってきましたが、近年では海外市場への参入やグローバル市場の創出などに有効なツールとして積極的に活用されるようになってきています。これからは、既存のモノサシ(=評価制度)に自社の製品を当てはめるだけでなく、自らの力(業界団体などと共に)で自らの評価制度を作る「ルールメイカー」へと変わっていくことで、大きくビジネスのチャンスが広がります。その評価制度づくりをチームNITEは支援いたします。

■ 評価制度の体系図



製品の価値を自ら創り出す

消費者による購入や企業間取引の際の判断の基準として、製品やサービスの価格や機能性、スタイル、素材の品質や安全性といった従来の基準に加えて、新たな価値を評価する軸(SDGsやエシカル消費等)が急速に普及しています。このように、社会が変化し、市場から新たな価値が生まれ、世の中のニーズが変わっていくことが日常となってきた現代、これまでの評価基準だけでは製品やサービスの価値を表現できないことも増えてきています。一步踏み出し、製品の設計や開発の段階から評価制度を自ら構築していくことで、市場創出のチャンスを手にする可能性があるのです。

評価制度の導入メリット

- ➔ 製品の優位性や有用性を明確に伝えることができ、差別化が図れる。
- ➔ 環境基準やエシカル消費など、新たな評価基準で価値を得ることができる。
- ➔ 「信頼できる製品」として認められ、直接的な購買動機になる。
- ➔ 売上が向上し、ブランド化へと進展する可能性がある。



新たな価値を創り出す3つのステップ



ステップ1 強み確認

顧客ニーズに応えるために測定可能な自社製品の強みを明確化

■ アパレル製品の差別化例



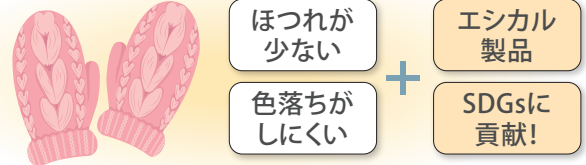
ほつれが少ない
色落ちがしにくい

- ① 工業会が定める**業界基準**を満たす繊維を使用!
- ② 色落ちのしにくさを測る**国内規格**で高品質判定!

ステップ2 モノサシの設定・見直し

- 既存の基準や規格を活用
- 既存の基準に自社製品にあった独自のモノサシの追加を提案
- 基準や規格が存在しない場合、独自のモノサシを設定

自社製品



ほつれが少ない
色落ちがしにくい

エシカル製品
SDGsに貢献!

- ①②に加えてさらに、
- ③ 国際的な**テキスタイル・エシカル認証**も取得!

NITEの有する豊富な知見、人材等を活用し、具体的構築へ

NITEの取り組み

「海洋生分解性プラスチックの価値の見える化」

国際的な社会課題となっている海洋プラスチックごみ問題。その解決の一助として、「海洋生分解性プラスチック※」に期待が広がっていますが、海洋生分解性に関する「適合性評価制度」が喫緊の課題でした。日本バイオプラスチック協会（JBPA）では2023年から、海洋での生分解性・安全性を確認したプラスチック製品への識別表示制度の運用を開始し、国内では価値の見える化が進み始めました。

NITEは、多くの機関と連携してこの「海洋生分解性に係る評価手法の確立」に携わっています。一方で、世界のほとんどの国々ではこの適合性に対する姿勢が固まっていません。合意形成のプロセスとそこにおける戦略性が今求められているのです。海洋生分解性プラスチックで作られる製品はまだ限定的ですが、様々な用途に適するように素材の開発が現在国内で活発に進められています。それらの国産素材が世界で認められていくための適合性評価制度を巡る取り組みは続いています。

チームNITEでは、素材産業や繊維産業、農業分野などにおいて、製品の開発段階から社会実装を見据えた評価制度づくりを引き続き支援していきます。

※生分解性プラスチックとは、微生物の働きにより分子レベルまで分解し、最終的には二酸化炭素と水となって自然界へと循環していく性質をもったプラスチックのこと。



写真はイメージです

日本バイオプラスチック協会認証マーク

SDGsの目標12・14に貢献

12 つくばい責任 つかう責任

14 海の豊かさを守ろう

海洋生分解性プラ

廃棄物の削減

海洋プラスチックごみの排出抑制

こんなお悩み、ご要望はありませんか？

- 自社製品の質を客観的に評価するモノサシがほしい
- 業界内の新しい品質基準を構築したい
- 品質の劣る模造品や偽造品を排除したい
- 評価制度を構築できる人材を社内に育成したい

「評価制度」構築、人材育成に関するご相談は、チームNITEへ
<https://www.nite.go.jp/nite/innovation/teamnite/>

